



2026年8月14日

各 位

会 社 名 M R T 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 小 川 智 也
(コード番号:6034 東証グロース)
問い合わせ先 取締役 西 岡 哲 也
TEL. 03-6415-5295

上場維持基準への適合に向けた計画(改善期間入り)に基づく進捗について

当社は、2026年3月 31 日において、「上場維持基準への適合に向けた計画(改善期間入り)について」(以下、「計画書」といいます。)を提出し、その内容を開示しております。このたび、当社の基準日 2026 年 12 月 31 日における計画の進捗状況を下記のとおりお知らせします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の基準日時点における上場維持基準への適合状況及び計画期間は下表のとおりです。

なお、現在改善期間に入っており、2026 年 12 月 31 日までの改善期間内に時価総額基準が適合しなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄に指定されます。その後審査の結果、時価総額基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は 2027 年 7 月 1 日に上場廃止となります。時価総額基準の適合は、事業年度の末日以前3か月間における東京証券取引所の売買立会における当該株券等の日々の最終価格の平均に、当該事業年度の末日における上場株券等の数を乗じて得た額で審査されます。

区分	時価総額
2025 年 12 月 31 日(基準日時点)	3,718 百万円(不適合)
2026 年 6 月30日時点	3,591 百万円
上場維持基準	4,000 百万円以上
計画期間	2026 年 12 月 31 日まで

※上記の表については、株式会社東京証券取引所から受領した書面「上場維持基準(時価総額基準)への適合状況について」に基づき、不適合項目のみを記載しております。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価

(1)事業の選択と集中

当社は、医師の価値創出ビジネスを中心とした中核事業への経営資源集中を目的として、事業ポートフォリオの見直しを推進いたしました。具体的には、2026 年5月に商品企画・開発・販売事業を営む株式会社医師たちとつくるの全株式を譲渡し、連結範囲から除外するとともに、婚活サービス事業の売却及び「ネット医局」サービスの終了を進めるなど、非中核事業の整理を実施いたしました。これにより、人的資源及び資金を医療人材サービスを中心とした重点領域へ再配分する体制を構築しております。

当社は、事業ポートフォリオの見直しを通じて、中核事業への経営資源集中と収益性改善を進めております。これらの取組は利益成長及び企業価値向上に寄与するものと認識しており、今後も継続的に事業の選択と集中を推進することで、上場維持基準への適合に向けた企業価値向上に取り組んでまいります。

(2) 中長期方針・企業価値向上に向けた成長戦略に関する情報開示

① 中期的な目標とマイルストーンの明示

当社は、事業ポートフォリオの見直し、成長投資の方向性、人員体制の最適化、収益性改善および資本政策を一体的に整理した中長期計画を 2026 年 6 月 30 日に開示いたしました。当該計画では、事業構造改革による収益基盤の強化に加え、中長期的な企業価値向上に向けた成長戦略を明確化し、各施策における目標およびマイルストーンを設定しております。

② 時価総額・PBR 等に関する説明の充実

当社は、中長期計画において株式時価総額の算定前提や企業価値向上に向けた考え方を明示するとともに、収益性、成長性、資本効率および財務健全性を重要な経営指標として位置付け、その改善目標と進捗状況を開示しております。

当社は、中長期計画の開示を通じて、改善期間中に取り組む重点施策、中長期的な成長目標および企業価値向上に向けた具体的な施策を明確化いたしました。また、収益性、成長性、資本効率および資本政策に関する考え方や目標を体系的に示すことで、株主・投資家に対して当社の成長戦略および企業価値向上への道筋を説明できたものと評価しております。今後も、各施策の進捗状況や経営指標の改善状況を継続的に開示し、株主・投資家との建設的な対話の充実および市場からの適正な評価の獲得に努めてまいります。

(3) IR 活動の強化(投資家との継続的かつ建設的な対話の充実)

当社は、中長期計画を策定・開示したことにより、個人投資家を含む幅広い投資家層に対して、当社の経営方針、成長戦略、収益性改善施策及び資本政策を発信するための IR 活動を推進する体制を構築いたしました。これにより、株主・投資家との継続的かつ建設的な対話に必要な説明事項や論点が明確化され、対話の基盤が整備されたものと評価しております。今後も積極的な情報発信と対話の充実を通じて、当社への理解促進および適正な企業価値評価の向上に努めてまいります。

(4) その他

当社は、中長期計画の策定・開示を通じて、事業の成長戦略、収益性向上施策及び資本効率改善に向けた方針を明確化いたしました。また、事業成長と資本効率の両面から企業価値向上に向けた取組を整理するとともに、グロース市場における上場維持基準への適合に向けた施策に加え、スタンダード市場への市場区分変更の可能性についても検討を進めております。

これにより、当社の企業価値向上に向けた選択肢及び対応方針の整理が進み、株主・投資家に対して中長期的な方向性をより明確に示すことができたものと評価しております。今後も資本市場との対話を踏まえながら、企業価値の最大化及び株主価値の向上に取り組んでまいります。

3. 上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針

当社は、上場維持基準(時価総額 40 億円)への適合に向け、企業価値向上に資する施策を着実に実行し、資本市場からの評価の向上を通じて時価総額の増大を目指すことを基本方針としております。企業価値は、将来キャッシュ・フロー創出力、成長可能性、資本効率、並びに市場からの信認の総和として形成されるものと認識しており、短期的な株価への対応に偏ることなく、事業成長の実現および資本市場との対話・情報開示の充実を両輪として取り組んでまいります。なお、計画期間である 2026 年 12 月 31 日までの適合を目指し、取組の進捗については適時適切に開示してまいります。

4. 上場維持基準への適合に向けた課題と取組内容

上場維持基準への適合に向けた課題と取組内容につきましては、2026 年 3 月 31 日公表の「上場維持基準への適合に向けた計画(改善期間入り)について」に記載のとおりです。

以 上